

情報共有

(取扱管理付)

東京電力株式会社

NISA 班 - プレス対応手帳

手許資料

11/3 10:00' FIX

11月3日 福島地域支援室における9時からの定例レク概要をお知らせします。

【説明内容】

- ①福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ(11月3日 6:00現在) [資料配付]  
②TOPICS (作業実績・予定等) [口頭説明]

<実績>

- 2号機PCV内の気体サンプリング結果について  
・昨日JAEAより、キセノンの存在を確認と評価  
・当社の結果もあわせ、希ガスを連續的に計測する設備設置等、今後の対応を検討

<予定>

- 3号機ガス管理システム設置の準備について  
・ロボットによる干渉物撤去作業を、引き続き実施

- 6号機滞留水移送について  
・10:00~16:00、T/B地下から仮設タンクへの移送予定

○水処理について

- ・キュリオンのベッセル2塔交換予定

○遮水壁工事について

- ・ボーリング調査引き続き実施予定

【主な質疑】

Q. JAEAの評価した、具体的な濃度は?

A. キセノンを確認したということ以外の、細かい事項についての連絡はない。

SQ. JAEAの評価では、ヨウ素の検出はあったのか?

SA. キセノン検出という評価が妥当だ、という連絡があったのみ。

SQ. この評価結果を踏まえ、今後どのように対応するのか?

SA. 結果の濃度から、中性子吸収の核分裂なのか自発核分裂なのか、さらに、原子炉がどのような状態なのか等、分析・確認していきたい。

Q. 1号機および3号機のサンプリングは?

A. 検討をしているところ。  
(バックグラウンドを下げる等、サンプリングを行う環境等、課題もある。)

Q. 今回の事象は、原子炉温度が下がった故、という見解もあると聞いたが、それはどういうことか?

A. 水の比重(密度)が上がれば、中性子が減速(して核分裂をおこりやすく)する可能性がある、というものだと思う。

Q. 県から、情報公開について指導を受けているが、それについてどう考えるか?

A. 県民のみなさまに、しっかりとわかりやすく、タイムリーにご説明するように努めてまいりたい。

以上

情報共有

(1枚非管理モード)

KUSA 班 メーティングキーパー

東京電力株式会社

11/3 14:50' FLX

## 手許資料

11月3日 福島地域支援室における13時30分からの臨時レク概要をお知らせします。

11/3 (木・祝) 13時30分臨時レク概要

■ レク出席人数: 15名 (記者12名、国3名)

■ レク実施時間: 13:33~13:51

### 【説明内容】

①核分裂反応の模式図(例) [資料配付]

- ・自発核分裂と誘導核分裂について説明。
- ・誘導核分裂が、全て臨界状態に至るわけではない旨、補足。

②福島第一原子力発電所2号機からの格納容器からのキセノン検出について [口頭説明]

- ・自発核分裂により生成されるキセノン135の量を評価したところ、検出濃度と一致。
- 一方、仮に1kW程度の臨界を仮定した場合、検出濃度の約1万倍となり、一致せず。
- ・ホウ酸注入前後、検出濃度オーダーが変わらないことから、自発核分裂と考えられる。
- ・臨界状態が発生すれば、パラメータ等に有意な変動が現れるはずだが、有意な変動がない。

以上の3点から、検出されたキセノン135は自発核分裂で生成されるものであり、  
臨界状態ではない、と判断。

### 【主な質疑】

Q. 自発核分裂が、冷温停止達成に与える影響は?

A. 通常状態における冷温停止でも自発核分裂は起こっているため、影響はないとも  
考へる。また、その際の(自発核分裂による)熱量は、崩壊熱によって隠れて  
しまう(ほどの小さな)規模・程度である。

Q. キセノンがどのくらい発生しているのか?

A. 自発核分裂量から推定されるキセノン135の量は、約4兆個と試算。  
なお、自発核分裂量から推定した放射能濃度と、今回の検出濃度から(チャコール  
フィルタの吸着率を乗じて)求めた放射能濃度は、ほぼ同オーダーとなった。

Q. ウランやプルトニウムも、自発核分裂が起こるのか?

A. 若干ではあるが、起こる。ただ、(キセノンと比較すれば)ごくわずかの規模。

Q. 希ガスを連続的に計測する設備設置のスケジュール等は、何か決まっているのか?

A. まだ、決まっていない。

Q. 現状の(自発核分裂が起きている)状態は、制御できている(臨界が起こらない)  
と言えるのか?

A. ホウ酸を既に480kg注入していることや今回のキセノンの濃度に鑑みると、  
臨界が起こることは考えにくい。  
また、燃料やCRが原型をとどめていないことを踏まえても、(臨界は)考えにくい。

以上

情報共有

NISA ← レスクスハイ

東京電力株式会社

11月3日 2005年

(本文 非管理文)

## 手許資料

11月3日 福島地域支援室における19時30分からの定例レク概要をお知らせします。

11/3 (木・祝) 19時30分定例レク概要

■レク出席人数: 14名 (記者12名、自衛隊1名、警察1名)

■レク実施時間: 19:31~19:46

### 【説明内容】

①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ (11月3日 午後3時現在) [資料配付]

②福島第一原子力発電所 サンプリング関係 [全て資料配付]

・空気中の放射性物質の核種分析の結果について (第二百二十三報)

・海水中の放射性物質の核種分析の結果について (第二百十六報)

・取水口付近で採取した海水中に含まれる放射性物質の核種分析の結果について (11月2日採取分)

・タービン連屋付近のサブドレンからの放射性物質の検出について (11月2日採取分)

・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

③TOPICS (作業実績・予定等) [口頭説明]

### <実績>

○2号機の窒素封入ラインへの流量計設置について

・格納容器近傍に設置

○2号機PCV窒素封入量の増加について

・昨日より再度上昇傾向で2.9%になったため、本日16:50~窒素ガス封入量を  
21→26Nm<sup>3</sup>/hに増加。注視を継続中。

○3号機ガス管理システム設置の準備について

・ガス管理システム設置のため、ロボットによる干渉物移動作業を昨日から本日に実施

○6号機滞留水移送について

・10:00~16:00、T/B地下から仮設タンクへの移送を実施

○水処理について

・キュリオンのペッセル2塔交換済み

### <予定>

○明日、1号機の原子炉建屋のサンプリングを予定

・機器ハッチ開口部、大物搬入口付近、建屋カバー排気設備出入口を予定

○ペッセル交換予定なし

●以下は、レク時に配布せず“投げ込み”のみ実施

・福島第一原子力発電所の状況

・福島第二原子力発電所プラント状況等のお知らせ (11月3日 午後3時現在)

### 【主な質疑】

Q. 2号機の水素濃度が上昇したのはなぜか。

A. 水が分解され発生している。

水素濃度を下げるために窒素封入量を増やし注視している状況。

以上